



「自主・誠実・根性」 子どもたちは 家庭・地域・学校の宝

2 学期始業式・認証式

14日から2学期が始まりました。始業式の校長講話では、1学期の終業式で伝えた「なぜ、語り合うことが必要なのか」という内容の続きで、「2学期は語り合いを深めたとそれを実行して動こう」という話をしました。1学期のように大きな行事は多くありませんが、そのかわりに学校生活に関して、じっくりと考えいろいろなことに挑戦できる大きなチャンスだと思います。生徒たちが感じている・思っている「ああしたい、こうしたい」を実現して欲しいと思います。



また、始業式の後には2学期中央委員・各常任委員長の認証式を行いました。認証式では、2年生を中心とした新しい学校のリーダーが紹介されました。

クラスター長、副クラスター長、各委員会委員長、ホーム長が校長より認証されました。4人のクラスター長からは、「当たり前のことを当たり前にする学校にしていきたい。」とリーダーとしての意気込みや力強い宣言などがありました。ぜひとも、生徒自身で自治的活動を進めて欲しいと思います。



<中央委員> 【クラスター長】 宇野純怜(2-1) 川畑陽都(2-2) 石川幸志朗(2-3) 金光聖晴(2-4)
【副クラスター長】 高橋心優(1-1) 伊藤 凜(1-2) 太田侑李(1-3) 井上陽介(1-4)

<各常任委員長>

【風紀委員会】 堀内麻綾(2-1)	【食育委員会】 北嶋月輝斗(2-4)	【環境委員会】 山本華菜(2-1)
【保健委員会】 山崎愛莉(2-4)	【図書委員会】 河崎七海(2-3)	【体育委員会】 長谷川琉央(2-2)
【情報委員会】 高村咲彩(2-2)	【国語委員会】 道下龍斗(2-1)	【社会委員会】 坂下颯空(2-2)
【数学委員会】 平馬聖弥(2-2)	【理科委員会】 谷川晴琉(2-4)	【英語委員会】 市村日奈子(2-3)
【音楽委員会】 渡邊麟太郎(2-3)	【美術委員会】 不破久礼愛(2-1)	【技家委員会】 安丸剛生(2-4)

<ホーム長>

【1-1】 田端優樹 岸田望花	【2-1】 八田千隼 奥田沙那	【3-1】 田中壺樹 村中緋奈乃
【1-2】 榮 瑠惺 中村理子	【2-2】 茶山陽奏 中梶華心	【3-2】 川治郁也 藪根鈴子
【1-3】 與座陽向 堀江陽葵	【2-3】 伊藤祥博 中橋 結	【3-3】 上埜朝旦 笈田聖華
【1-4】 中野泰樹 西村菜央	【2-4】 戸舘叶夢 鈴木綾乃	【3-4】 加藤碧斗 向島麻央

～保護者・地域の皆様へお願い～ 気がかりなことなどがございましたら、気軽に学校にご連絡ください。その際は学年・学級・お名前等をお伝えください。速やかで適切な対応に努めます。ブログでの情報発信にも努めています。右のQRコードでブログがご覧いただけます。学校だよりのカラー版は同ブログ上でご覧いただけます。



言葉がつくる物語

私たちは、毎日の生活の中で、たくさんの言葉を使っています。「ありがとう」「助かったよ」「一緒にやろう」「それ、いいね」。一方で、「うざい」「どうせ無理」「消えろ」など、人を傷つけてしまう言葉を使うこともあります。もちろん、人を傷つける言葉を使ってはいけません。なぜなら、言われた相手が傷つくからです。でも、私はもう一つ、大切なことを考えてほしいと思っています。それは、「人を傷つける言葉は、相手だけでなく、自分自身も傷つけているのではないか。」ということです。人に対して否定的な言葉を繰り返していると、いつの間にか相手のよいところよりも、悪いところばかりが目につくようになります。「どうせあの人は……」と決めつけたリ、相手を理解するよりも、評価するようになったりすることもあります。反対に、人を大切にす言葉を使っていると、相手の良さに気づき、人を理解しようとする気持ちが育っていきます。つまり、私たちは、自分が使う言葉によって、自分自身もつくっているのです。だからこそ、私は「人を大切にすることは、自分を大切にすることにつながる」と思っています。

人は、一人だけでは成長できません。友達と話したり、先生や家族の話を聞いたり、誰かと一緒に悩んだり、挑戦したりする中で、「こんな考え方もあるんだ」「自分にもこんなことができるんだ」と、新しい自分に気づいていきます。至民中学校が大切にしている「Co-narrative～共に紡ぐ物語～」も、まさにそこにあります。自分の物語は、自分一人で作るものではありません。人との出会いや対話、かけてもらった言葉、誰かと過ごした経験が、少しずつ自分の物語をつくっていきます。そして、私たちの言葉は、相手の物語にもなります。「大丈夫だよ」「一緒にやろう」「あなたならできるよ」という一言で、昨日まで「自分には無理だ」と思っていた人が、「やってみよう」と思えるかもしれません。一つの言葉が、誰かの未来を変えることだってあるのです。だから、皆さんに考えてほしいのです。「私は、どんな人になりたいのか。」「私は、周りの人にどんな影響を与える人になりたいのか。」

人を否定するのか、それとも相手の話を聴いてみるのか。傷つける言葉を選ぶのか、それとも勇気づける言葉を選ぶのか。その一つ一つの選択が、自分自身をつくり、周りの人との関係をつくり、やがて自分の未来をつくっていきます。よりよい人間関係を築く力は、これからの人生を生きていくための大切な力です。だからこそ、相手を大切にしてください。そして、自分自身も大切にしてください。

今日、自分が誰かにかける一言が、その人の一日を変えるかもしれません。そして、その言葉を選んだ自分自身も、少しずつ変わっていくのだと思います。「言葉は、相手をつくる。そして、言葉は、自分自身もつくっている。」そんなことを心に留めながら、これからもみんなと、互いの物語を大切に、よりよい未来へ向かって「共に紡ぐ物語」の学校をつくっていきましょう。

ヘルメット寄贈式

福井の建設業界の企業様から、地震などの災害時に生徒たちの身を守るための防災用ヘルメットを全校生徒分寄贈していただきました。その寄贈式が8日！学期終業式の前に行われました。寄贈いただいた企業は、本校区にある株式会社YAMAZENを始め、轟建設株式会社、株式会社HIT、ケイズプロス株式会社、株式会社S-LAPの5つの企業様です。贈呈式では、YAMAZENの代表取締役の山本様から「これを機に少しでも防災の意識を高め、備えてほしいです。」とのお言葉をいただきました。

近年、全国各地で想定外の災害も多発しています。本校は毎年6月に防災週間をつくり防災に対する意識や知識を高めておりますが、改めて備えの大切さを感じました。

今後の来校者のお知らせ

10/27はマラウイ視察団、30は香川県観音寺市からの学校訪問があります。11/13は家庭・地域・学校協議会の方の来校、20は公開研究発表会があり多くの方が来校されます。12/16は岐阜県大垣市より学校訪問があります。12月初旬は教育ウィークがあり保護者、地域の方々に学校開放もします。詳細は後日お伝えいたします。